

## 長期投資家の皆様へ

9月は米国株式市場が足元の好調な企業業績を好感して高値更新に向け上昇トレンドを辿りました。そして米国市場の好調は世界全体の投資マネーを楽観へと導き、いくつもの外的懸念要因は市場で取って過小評価されて来ましたが、こうした極端にバランスを欠いたモメンタムには早晚必ずや揺り戻しの調整局面が訪れる。それが10月に入ってから変調した、マーケットの自律的修正機能とでも言えましょう。

米中貿易摩擦は政治的覇権に根差した経済戦争であるとの認識に市場が気づき始め、同時に産業界の活動に負の影響が見え始めて、来期以降の企業利益率の減速見通しが顕在化して来ました。それまでの金融市場の楽観は成長速度の持続が前提でしたので、現状の株価水準は修正へと市場全般に潮目の変化を起こしたのです。

ひとたび成長阻害要因に関心が移れば、米中摩擦のほか米利上げからの影響、欧州では英国の欧州連合離脱（ブレグジット）を巡る混迷、イタリアの財政規律問題、それに中東の政治的カオスなどが複合的にクローズアップされて、世界の株式市場が上下動を大きくしながらの下落基調に変わったのが10月の1か月でした。

今回しばらく続いた楽観相場の後に訪れた調整相場は暫く続くかもしれません。されどグローバル経済全体では成長地域の拡大は続き、巡航レベルの長期的成長軌道は大きく変わるわけではなく、長期投資家にとっては下落相場が将来の果実をより大きく育ててくれる機会になることを、既に皆さんは知っているはずです。

「セゾン号」の長期運用は市場マインドの変化をその先のリターン醸成における好機と捉え、ぶれることなく同じ軌道を進んでいます。乗客の皆さまも同様、何ら投資行動を変えることなく、淡々と長期投資を続けることが何より重要な局面でありましょう。

代表取締役社長 中野 晴啓

## 今月の市場動向

### 世界の株式市場についての概況

株式市場は、新興国の一部を除いて下落しました。

序盤、米国の経済指標が景気の底堅さを示すなかで、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が講演で利上げ継続に前向きな見解を示したことを受けて米国の長期金利が上昇し、新興国の株式市場から資金が流出するとの懸念が高まったほか、イタリアの財政問題への懸念が高まったことから、軟調な展開となりました。

中盤にかけては、米国の長期金利が約7年半ぶりの高さまで上昇したことを受けて将来の企業収益に対する評価が見直されて株式の割高感が意識され、これまで相場をけん引してきた情報技術関連株が下落したほか、連休明けの中国の株式市場が下落したことをきっかけに投資家心理が悪化し、下落しました。中盤以降は、サウジアラビア情勢を巡る不透明感が高まりましたが、米国の長期金利の上昇が一服したことや、中国政府が景気刺激策を打ち出したことを受けて、下げ止まりました。

終盤、米国企業の7-9月期の決算が力強さを欠いたことを背景に米国の株式市場が下落し、その流れを受けて世界的に下落する局面もありましたが、その後は米国のトランプ大統領が中国との貿易交渉について楽観的な見方を示したことで貿易摩擦に対する懸念が後退し、下落幅を縮小しました。

### 10 月度の商品価格の動向

|                         | 終値     | 騰落率     |
|-------------------------|--------|---------|
| NY 原油先物（WTI／直近限月）／1 バレル | 65.31  | -10.84% |
| NY 金先物（中心限月）／1 トロイオンス   | 1215.0 | +1.57%  |

米国で金利が上昇したことを受けて株式市場の割高感が意識されたほか、株式市場から債券市場へ資金が流出するとの見方が強まり、株式市場は下落しました。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 10 月度の市場動向について

### 米国株式

米国の株式市場は、下落しました。

序盤、非製造業の景況感を示す指数が市場の予想を上回ったこと、雇用統計で失業率が 48 年ぶりの低水準を記録して労働市場の底堅さが示されたことで一時上昇しましたが、その後は、パウエル連邦準備制度理事会（FRB）議長が講演で利上げ継続に前向きな見解を示したことで長期金利が上昇し、債券に対する株式の魅力が相対的に低下したこともあり、反落に転じました。

中盤にかけては、長期金利が約 7 年半ぶりの高さまで上昇したことで、将来の企業収益に対する評価が見直されて株式の割高感が意識され、これまで相場をけん引してきた情報技術関連株が株式市場の下げを主導しました。中盤以降は、サウジアラビア情勢を巡る不透明感が高まりましたが、消費者物価指数（CPI）の伸びが前回から縮小したことや株式市場が大幅に下落したことを受けて長期金利の上昇が一服したほか、7-9 月期の企業決算発表が良好な内容で始まったことから、底堅い展開となりました。

終盤にかけては、続いて発表された 7-9 月期の企業決算が力強さを欠く内容であったことを受けて軟調な展開となり、その後は、企業決算の発表を受けた荒い値動きが続きましたが、終盤にはトランプ大統領が中国との貿易交渉について楽観的な見方を示したことで貿易摩擦に対する懸念が後退し、下落幅を縮小しました。

#### 10 月度の主要指数の概況

|                     | 終値       | 月間騰落率  |
|---------------------|----------|--------|
| ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル） | 25115.76 | -5.07% |
| S&P500（米ドル）         | 2711.74  | -6.94% |
| ナスダック総合指数（米ドル）      | 7305.899 | -9.20% |

米国の 7-9 月期の国内総生産（GDP）は、個人消費が堅調な伸びを示し、予想を超える伸びとなりましたが、輸出が減少したほか、設備投資の伸びも縮小しており、景気の先行きには不透明感が広がっています。

### 欧州株式

欧州の株式市場は、下落しました。

序盤、イタリアの財政問題への懸念が拡がるなかで、ドイツ政府が 2018-19 年の経済成長率見通しを引き下げたことを受けて景気の先行きへの懸念が拡がり、軟調な展開となりました。

中盤にかけては、イタリアの財政問題や英国の欧州連合（EU）離脱交渉を巡る不透明感に加えて、米国の株式市場や連休明けの中国の株式市場が下落したことを受けて投資家心理が悪化し、下落しました。ドイツ DAX は約 1 年半ぶり、フランス CAC は約 7 カ月ぶり、英国 FT100 は約 6 カ月ぶりの安値を記録しました。中盤以降、それまでの下落に対する反動で反発する局面はあったものの、イタリアの財政問題や英国の欧州連合（EU）離脱交渉の不透明感が引き続き株式市場に影響を与え、方向感に欠ける展開でした。

終盤、ユーロ圏で企業の景況感の悪化が示され、経済成長の鈍化に対する懸念が高まったことを受けて軟調に推移する局面もあったものの、その後は、米国のトランプ大統領が中国との貿易交渉について楽観的な見方を示したことで貿易摩擦に対する懸念が後退し、下落幅を縮小しました。

#### 10 月度の主要指数の概況

|                     | 終値       | 月間騰落率  |
|---------------------|----------|--------|
| 独 DAX 指数（ユーロ）       | 11447.51 | -6.53% |
| 仏 CAC 指数（ユーロ）       | 5093.44  | -7.28% |
| 英 FT100 指数（英ポンド）    | 7128.10  | -5.09% |
| スイス SMI 指数（スイスフラン）  | 9022.16  | -0.72% |
| MSCI Europe 指数（ユーロ） | 122.26   | -5.41% |

米国との貿易摩擦の影響を受けて、ユーロ圏では企業の景況感を示す指数の低下が続いているほか、7-9 月期の国内総生産（GDP）の伸び率も縮小しており、経済が停滞することへの懸念が一段と高まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 日本株式

国内の株式市場は、下落しました。

序盤、日本銀行が発表した全国企業短期経済観測調査（日銀短観）で企業の景況感が悪化していることが示されたものの、為替が対ドルで円安となったことから、企業収益の改善への期待が高まり、一時的に底堅く推移しましたが、その後は米国の長期金利の上昇を受けた世界的な株式市場の下落が波及し、下落しました。

中盤にかけては、機械受注で設備投資の先行指標とされる船舶・電力を除く民需が市場の予想を上回ったことで持ち直す局面はあったものの、世界的に株式市場が下落するなかで下落しました。中盤にはやや落ち着きを取り戻して堅調に推移する局面もあったものの、その後は米国のムニューシン財務長官が日米通商協議で為替問題を議論する意向を示したことで為替市場での円高進行に対する懸念が高まったこと、中国の7-9月期の国内総生産（GDP）の前年比の伸び率が低下し、中国景気の先行きに対する懸念が高まったことを受けて下落しました。しかしその後は、中国政府が景気刺激策を打ち出して中国の株式市場が下げ止まり、一時的に落ち着く展開となりました。

終盤、株式市場が世界的に下落したことが影響し、一段と下落する局面もありましたが、その後は、米国のトランプ大統領が中国との貿易交渉について楽観的な見方を示したことで貿易摩擦に対する懸念が後退し、下落幅を縮小しました。

## 10 月度の主要指数の概況

|                  | 終値       | 月間騰落率  |
|------------------|----------|--------|
| 日経平均株価指数（円）      | 21920.46 | -9.12% |
| TOPIX[東証株価指数]    | 1646.12  | -9.42% |
| MSCI Japan 指数（円） | 984.04   | -9.06% |

日銀短観の、大企業・製造業の景況感を示す指数は、2～3年前よりも高めの水準ではあるものの、直近では3四半期連続で低下しており、先行きに対する不透明感が広がっています。

## 太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、下落しました。

序盤、米国の長期金利の上昇により、米国との金利差が拡大することで、太平洋地域から資金が流出することへの懸念が高まり、下落しました。

中盤にかけては、太平洋地域における独自の材料に欠けるなか、米国の長期金利上昇による資金流出懸念や連休明けの中国株式市場の下落をはじめとした世界的な株式市場の下落を受けて下落基調が継続しました。中盤以降は、経済的に関係の深い中国で7-9月期の国内総生産（GDP）の前年比の伸び率が2009年以来の低水準を記録し、景気減速懸念が高まって軟調な展開となりましたが、その後、中国政府が景気刺激策を打ち出すと、下落幅を縮小しました。

終盤には、世界的に株式市場が下落するなかで、オーストラリアの下院議員の補欠選挙で与党・自由党が敗北し、現政権の議席数が過半数割れする見込みとなつて政治的な不透明感が高まったこともあり、一段と下落する局面もありましたが、その後は、米国のトランプ大統領が中国との貿易交渉について楽観的な見方を示したことで貿易摩擦に対する懸念が後退し、下落幅を縮小しました。

## 10 月度の主要指数の概況

|                               | 終値       | 月間騰落率   |
|-------------------------------|----------|---------|
| MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル） | 1222.39  | -8.80%  |
| S&P/ASX200 指数（豪ドル）            | 5830.307 | -6.08%  |
| 香港ハンセン指数（香港ドル）                | 24979.69 | -10.11% |
| シンガポール ST 指数（シンガポールドル）        | 3018.80  | -7.31%  |

オーストラリア経済は堅調な推移が続いているものの、米国との貿易摩擦の影響などにより、資源の主要な輸出先である中国で景気が力強さを欠いていることから、先行きへの不透明感が高まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 10 月度の市場動向について

### 新興国株式

新興国の株式市場は、ブラジルを除いて下落しました。

序盤、米国の長期金利が上昇したことで新興国から資金が流出することへの懸念が高まったほか、中国の国家統計局が発表した製造業の景況感を示す指数が市場の予想以上に低下し、中国景気の先行きに対する懸念が高まり、下落しました。なかでもインドの株式市場は、インド準備銀行（RBI）が市場の予想に反して政策金利を据え置くことを決定し、資金流出懸念が一段と高まったことで下落しました。一方でブラジルの株式市場は、大統領選挙を前に、市場重視の経済政策を掲げるボルソナロ下院議員の支持率が上昇したことを背景に堅調でした。

中盤にかけては、一段と下落しました。国慶節の連休明けに中国の株式市場が下落し、その流れを受けて韓国や台湾の株式市場も下落しました。一方で、インドの株式市場が、それまでの下落の反動やインド・ルピーの下落が一服したことを受けて上昇したほか、ブラジルの株式市場は、大統領選挙の第1回投票でボルソナロ下院議員が圧勝したことを受けて上昇しました。

中盤以降は、軟調な展開が継続しました。中国の株式市場は、中国の7-9月期の国内総生産（GDP）の伸び率が前年比+6.5%と、2009年以來の低水準となったことで中国景気の先行きに対する警戒感が高まり、下落しましたが、その後、中国政府が景気刺激策を打ち出すと、中国の株式市場は下げ止まる展開となりました。ブラジルの株式市場は、大統領選挙で、ボルソナロ下院議員が優勢との見方が引き続き支援材料となって堅調に推移しました。

終盤、米国の長期金利上昇による新興国からの資金流出懸念が根強く残るなかで、世界的に株式市場が下落して軟調な展開となりましたが、ブラジルの株式市場は、大統領選挙でボルソナロ下院議員が当選したことを受けて上昇し、中国の株式市場は、中国政府が景気刺激策の具体的な方針を示したことを受けて上昇しました。その後は、米国のトランプ大統領が中国との貿易交渉について楽観的な見方を示したことで貿易摩擦に対する懸念が後退し、下落幅を縮小しました。

### 10 月度の主要指数の概況

|                           | 終値       | 月間騰落率   |
|---------------------------|----------|---------|
| MSCI Emerging 指数（米ドル）     | 955.92   | -8.78%  |
| ブラジルボベスパ指数（ブラジルリアル）       | 87423.55 | +10.19% |
| 中国上海指数（中国元）               | 2602.783 | -7.75%  |
| 韓国総合株価指数（韓国ウォン）           | 2029.69  | -13.37% |
| 台湾加権指数（台湾ドル）              | 9802.13  | -10.94% |
| ロシア RTS 指数（米ドル）           | 1126.21  | -5.52%  |
| S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー） | 34442.05 | -4.93%  |
| 南アフリカ全株指数（南アフリカランド）       | 52388.87 | -5.96%  |

中国の7-9月期のGDPは、米国との貿易摩擦により先行きへの不透明感が拡がるなかで、投資や消費の伸びが力強さを欠いており、前年同期比の伸び率が物価変動の影響を除いた実質で+6.5%と2009年1-3月期以來の低い伸びに留まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 10 月度の市場動向について

### 世界の債券市場についての概況

米国の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。前半、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利上げ継続に前向きな姿勢を示したことなどを理由に下落しましたが、中盤以降は、米国の株式市場が下落するなかで上昇しました。ユーロ圏の債券市場では、ドイツなど主要国の国債が上昇しました（金利は低下）。イタリアの財政問題に対する懸念を背景に、安全資産としてドイツなど主要国の国債への需要が高まりました。日本の債券市場は、日本銀行による金融緩和の縮小観測が後退し、小幅に上昇しました。

### 米国債券市場（国債）

米国の債券市場は、下落しました。

序盤、堅調な経済指標を受けて米国景気に対する楽観的な見方が広がったことで物価上昇観測が高まったほか、パウエル連邦準備制度理事会（FRB）議長が講演で利上げ継続に前向きな姿勢を示したことを受けて下落し、その後も軟調な展開が継続しました。中盤には、消費者物価指数（CPI）の伸びが縮小し、物価上昇観測が後退したことや株式市場が下落したことを受けて反発に転じる局面もありましたが、その後は連邦公開市場委員会（FOMC）議事録（9月開催分）で参加者の多くが利上げ継続に前向きであることが示され、やや軟調な展開となりました。終盤には、株式市場の下落や先行きに対する不透明感の高まりを受けて安全資産としての需要が高まり、上昇する局面もありましたが、その後は、トランプ大統領の発言をきっかけに貿易摩擦の深刻化への懸念が後退して反落しました。

### 10 月度の長期金利の状況

|          | 利回り      | 前月比     |
|----------|----------|---------|
| 米 10 年国債 | 3.144%付近 | +0.083% |

### 欧州債券市場（国債）

ユーロ圏では、ドイツなど主要国の国債が上昇しました。

序盤、イタリアの財政問題に対する懸念を背景に、イタリア国債が下落してドイツなど主要国の国債が上昇しました。中盤にかけては、世界的に株式市場が下落して投資家心理が悪化し、安全資産としてドイツなど主要国の国債への需要が高まり、上昇しました。中盤以降は、欧州委員会がイタリアが提出した 2019 年の財政予算案に対して規律違反との見解を示して修正を求めたことを受けてイタリアの財政問題に対する懸念が再び高まり、イタリア国債が下落する一方でドイツ国債が上昇しました。終盤は、ユーロ圏で企業の景況感の低下が確認されたことや、ドイツのメルケル首相が 2021 年の任期満了後に与党・キリスト教民主同盟（CDU）の党首を退く意向を示し、政治的な不透明感が広がるなかでドイツ国債など主要国の国債を中心に堅調に推移しました。

### 10 月度の長期金利の状況

|          | 利回り      | 前月比     |
|----------|----------|---------|
| 独 10 年国債 | 0.385%付近 | -0.085% |

### 日本債券市場（国債）

日本の債券市場は、ほぼ横ばいでした。

序盤、米国国債の下落が世界的に波及したことを受けて軟調な展開となり、中盤から終盤にかけては、株式市場の下落を背景に安全資産としての需要が高まり、堅調な展開となりました。終盤には、景気の先行きに対する懸念が一段と高まる中で、日本銀行による金融緩和の縮小観測が後退して上昇しました。

### 10 月度の長期金利の状況

|          | 利回り      | 前月比     |
|----------|----------|---------|
| 日 10 年国債 | 0.127%付近 | -0.003% |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 10 月度の市場動向について

世界の為替市場についての概況

為替市場では、イタリアの財政問題への懸念や域内の景気減速への懸念、さらには政治的な不透明感の高まりによりユーロが下落する一方で、米国で物価上昇観測を背景に金融引締めへの警戒が高まっていることから、ドルは堅調に推移しました。

円は、世界的に株式市場が大きく下落し、リスク回避の動きが強まるなかで上昇し、対ドル、対ユーロで円高となりました。

## ドル・円

円はドルに対して、上昇しました。

序盤、米国景気が底堅いとの見方やパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が講演で漸進的な利上げを支持する見解を示したことでドルが上昇し、円安となりましたが、その後は米国の長期金利の上昇を受けて株式市場が下落したことを受けてリスク回避の動きが強まって円が上昇し、円高となりました。

中盤にかけては、世界的な株式市場の下落を背景に、リスク回避の動きが強まって円の上昇が続き、一段と円高が進行しました。中盤以降は、世界的な株式市場の下落が続き、サウジアラビア情勢を巡る不透明感が高まるなかで円が堅調に推移し、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録で参加者の多くが利上げ継続に前向きだったことが示されてドルも堅調に推移し、方向感の無い展開でした。終盤には、世界的な株式市場の下落を受けてリスク回避の動きが強まって円が上昇して一段と円高が進行する局面もあったものの、その後は、米国のトランプ大統領が中国との貿易交渉について楽観的な見方を示したことで貿易摩擦に対する懸念が後退してリスク回避の動きが和らぎ、円が下落して円安となりました。

## ユーロ・円

円はユーロに対して、上昇しました。

序盤、イタリアの財政問題への懸念が高まったことやドイツ政府が経済成長率見通しを下方修正したことを受けてユーロが軟調な展開となる一方、株式市場が下落基調となるなかで円は堅調に推移し、円高となりました。中盤には世界的な株式市場の下落を背景に、リスク回避の動きが強まって円の上昇が続く一方で、イタリアの財政問題への懸念などを背景にユーロの軟調な動きが継続し、円高基調が継続しました。終盤には、欧州委員会が、イタリアが提出した 2019 年の財政予算案に対して規律違反との見解を示して修正を求めるなどイタリアの財政問題への懸念が一段と高まったほか、ユーロ圏企業の景況感を示す指数が低下したことを受けてユーロ圏経済の先行きに対する懸念が高まってユーロが下落し、一段と円高が進行しました。その後は、貿易摩擦への懸念が後退してリスク回避の動きが和らぎ、円が下落したものの、ユーロもドイツのメルケル首相が 2021 年の任期満了後に与党・キリスト教民主同盟（CDU）の党首を退く意向を示し、政治的な不透明感が広がって軟調な展開となり、方向感の無い展開となりました。

## 10 月度の概況

|        | レート*   | 月間騰落率        |
|--------|--------|--------------|
| 円／ドル   | 112.96 | -0.66%（円高）   |
| 円／ユーロ  | 127.79 | -3.12%（円高）   |
| ユーロ／ドル | 1.1309 | -2.56%（ユーロ安） |

\*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
10月度運用レポート「セゾン資産形成の達人ファンド」  
運用概況（2018年10月31日現在）今月のマーケット

株式：【米国で金利が上昇したことを受けて株式市場の割高感が意識されたほか先行きへの不透明感が高まったことを受けて下落】

米国で長期金利が上昇したことを受けて金利の上昇観測が強まり、企業が将来生み出す利益の評価が下方修正されて株式市場の割高感が意識されたほか、政治的な不透明感が広がるなかで欧州や中国で景気減速への懸念が強まったことを受けて、大きく下落しました。

為替：【ユーロが軟調な展開となる一方でドルは堅調な展開。円は上昇し、対ドル、対ユーロで円高】

域内景気の先行きに対する明るい見方の後退や欧州での政治的な不透明感の高まりを背景にユーロが軟調な展開となる一方で、米国で物価上昇観測を背景に金融引締めへの警戒が高まりドルが堅調な展開となりました。円はリスク回避の動きが強まるなかで上昇しました。

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド、米国オポチュニティファンド、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、コムジェスト日本株式ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から上昇し、月末時点で約2.0%です。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

ファンドマネジャーからの一言

株式の価値は、企業が保有している資産の価値と将来獲得する利益などの予想をもとに見積もられます。ただし、企業が将来獲得する利益は、現在の価値に置き換えるために、獲得までの期間や予想を下回る可能性などに応じて、割引を行います。その際に利用される割引率は、株式の価値を見積もる主体がそれぞれ適切と考えるものを利用しますが、割引率の水準を、直近の金利の水準や将来の金利の見通しによって決定すると、金利が上昇した場合や将来の金利見通しが変化した場合に、株式の価値が低めに再評価されて、保有している株式の売却などの投資判断の変更につながる場合もあります。

一方、保守的な姿勢で、常に高めの割引率を利用して将来の利益の見積りを行っていただければ、株式の価値の評価は低めとなり、価値に対して十分に割安と考えられる株式のみに投資を行う場合の投資対象は限定されるものの、金利が上昇する局面においても同じ投資判断を維持し、資産を守ることができると考えています。

当ファンドでは引き続き、幅広い地域への分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

セゾン資産形成の達人ファンド  
10 月度運用レポート

## I : ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2018 年 10 月 31 日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 19,961円 |
| 純資産総額 | 641.3億円 |

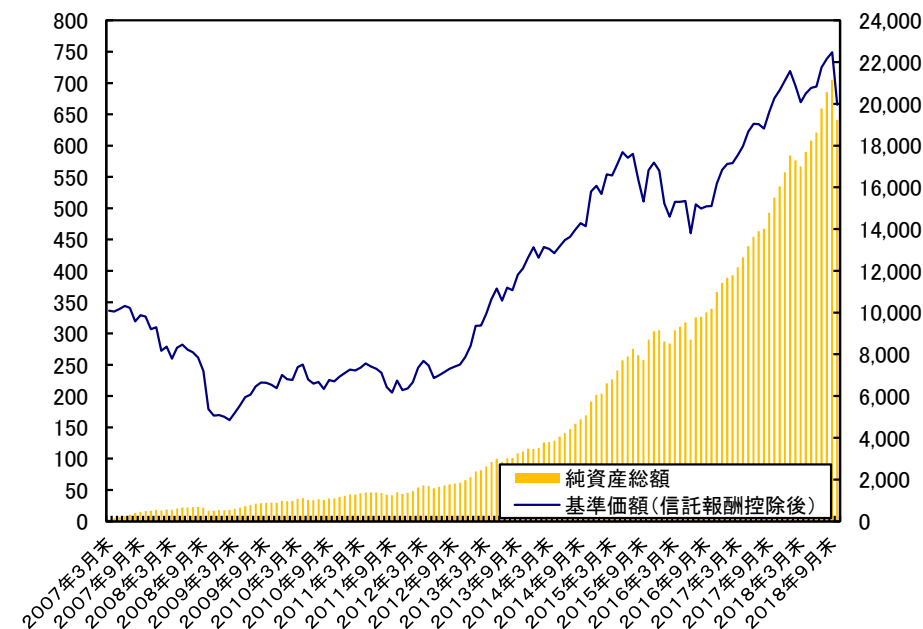
|            |         |
|------------|---------|
| 設定来騰落率     | 99.61%  |
| 過去1ヶ月間の騰落率 | -11.19% |
| 過去6ヶ月間の騰落率 | -2.60%  |
| 過去1年間の騰落率  | -1.50%  |
| 過去3年間の騰落率  | 18.64%  |

\*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト (設定から 2018 年 10 月 31 日まで)

|       | 基準価額   | 日付         |
|-------|--------|------------|
| 設定来安値 | 4,601  | 2009年3月11日 |
| 設定来高値 | 22,574 | 2018年10月2日 |

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



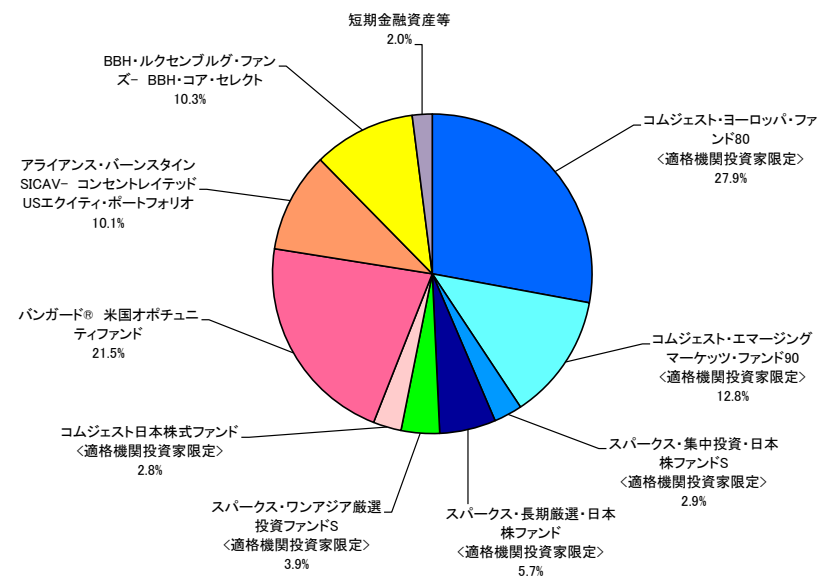
セゾン資産形成の達人ファンド  
10月度運用レポート

Ⅱ：ファンド資産の状況（2018年10月31日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

| ファンド名称   | 比率     |
|--|--------|
| コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 27.9%  |
| コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90<br>〈適格機関投資家限定〉           | 12.8%  |
| スパークス・集中投資・日本株ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 2.9%   |
| スパークス・長期厳選・日本株ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                  | 5.7%   |
| スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                | 3.9%   |
| コムジェスト日本株式ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                      | 2.8%   |
| バンガード® 米国オポチュニティファンド                               | 21.5%  |
| アライアンス・バーンスタインSICAV<br>- コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ | 10.1%  |
| BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト                      | 10.3%  |
| 短期金融資産等  | 2.0%   |
| 合計   | 100.0% |

資産配分状況（2018年10月31日現在）



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込0.5724%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約1.43%です。  
（実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
10月度運用レポート

参考：国別投資比率、業種別投資比率（2018年9月28日現在）

## 国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

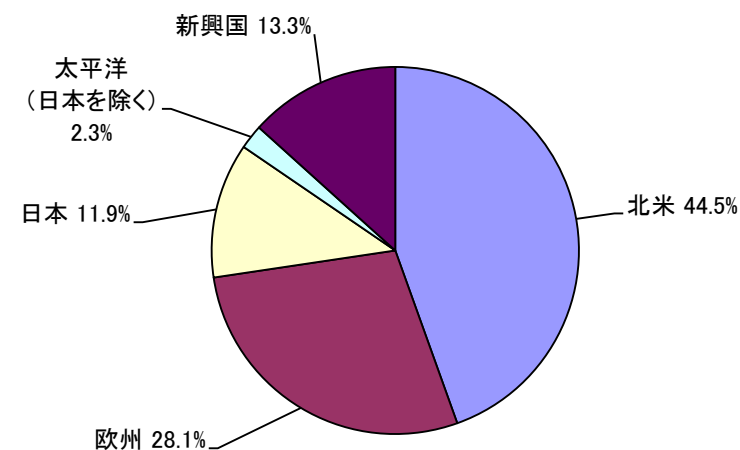
| 国名      | セゾン資産形成の<br>達人ファンドの<br>投資比率 | MSCI All Country<br>Indexの時価総額<br>に基づく比率 | 差異     |
|---------|-----------------------------|--|--------|
| アメリカ    | 44.5%                       | 55.1%                                    | -10.6% |
| 日本      | 11.9%                       | 7.6%                                     | 4.3%   |
| フランス    | 5.6%                        | 3.5%                                     | 2.1%   |
| スイス     | 4.9%                        | 2.5%                                     | 2.4%   |
| 中国      | 4.2%                        | 3.4%                                     | 0.7%   |
| ドイツ     | 3.8%                        | 2.9%                                     | 0.9%   |
| スペイン    | 3.7%                        | 0.9%                                     | 2.8%   |
| イギリス    | 3.2%                        | 5.4%                                     | -2.2%  |
| デンマーク   | 2.7%                        | 0.5%                                     | 2.2%   |
| オランダ    | 1.8%                        | 1.0%                                     | 0.8%   |
| 香港      | 1.6%                        | 1.1%                                     | 0.5%   |
| 韓国      | 1.6%                        | 1.6%                                     | 0.0%   |
| ブラジル    | 1.6%                        | 0.7%                                     | 0.9%   |
| 南アフリカ   | 1.4%                        | 0.7%                                     | 0.7%   |
| 台湾      | 1.4%                        | 1.4%                                     | 0.0%   |
| インド     | 1.0%                        | 0.9%                                     | 0.1%   |
| スウェーデン  | 1.0%                        | 0.8%                                     | 0.1%   |
| ポルトガル   | 0.9%                        | 0.0%                                     | 0.9%   |
| メキシコ    | 0.8%                        | 0.3%                                     | 0.4%   |
| アイルランド  | 0.5%                        | 0.2%                                     | 0.4%   |
| インドネシア  | 0.4%                        | 0.2%                                     | 0.2%   |
| オーストラリア | 0.4%                        | 2.1%                                     | -1.7%  |
| マレーシア   | 0.4%                        | 0.3%                                     | 0.1%   |
| ロシア     | 0.3%                        | 0.4%                                     | -0.1%  |
| タイ      | 0.2%                        | 0.3%                                     | 0.0%   |
| シンガポール  | 0.1%                        | 0.4%                                     | -0.3%  |
| フィリピン   | 0.1%                        | 0.1%                                     | 0.0%   |
| ルクセンブルグ | 0.0%                        |  | 0.0%   |

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。  
また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。  
\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の国は、セゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンドの国・地域別投資比率



\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

## セゾン資産形成の達人ファンド 10月度運用レポート

販売用資料  
2018.11.5

### 業種別投資比率

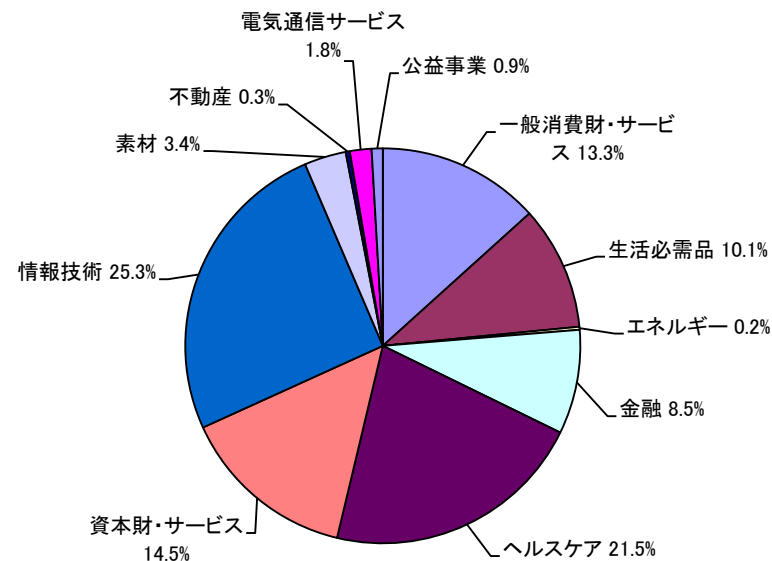
※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

| 業種         | セゾン資産形成の<br>達人ファンドの<br>投資比率 | MSCI All Country<br>Indexの時価総額<br>に基づく比率 | 差異    |
|------------|-----------------------------|--|-------|
| 一般消費財・サービス | 13.3%                       | 12.2%                                    | 1.1%  |
| 生活必需品      | 10.1%                       | 7.9%                                     | 2.3%  |
| エネルギー      | 0.2%                        | 6.7%                                     | -6.5% |
| 金融         | 8.5%                        | 17.1%                                    | -8.6% |
| ヘルスケア      | 21.5%                       | 11.8%                                    | 9.6%  |
| 資本財・サービス   | 14.5%                       | 10.7%                                    | 3.8%  |
| 情報技術       | 25.3%                       | 20.0%                                    | 5.4%  |
| 素材         | 3.4%                        | 5.0%                                     | -1.6% |
| 不動産        | 0.3%                        | 2.8%                                     | -2.5% |
| 電気通信サービス   | 1.8%                        | 2.8%                                     | -1.1% |
| 公益事業       | 0.9%                        | 2.9%                                     | -1.9% |

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%と異なる場合があります。

### セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%と異なる場合があります。

\*セゾン資産形成の達人ファンドの業種は、世界産業分類基準（GICS）を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 10月度運用レポート

販売用資料  
2018.11.5

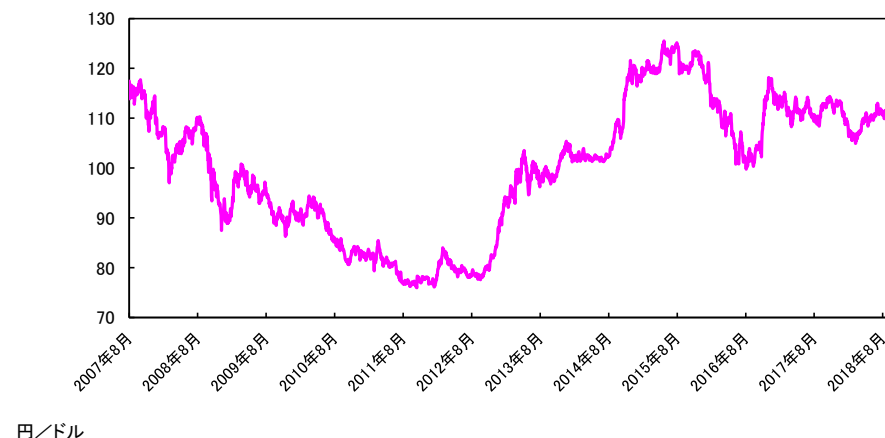
### Ⅲ：為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

| 日付          | 円／ドル   |
|-------------|--------|
| 2007年8月15日  | 117.44 |
| 2007年12月28日 | 114.15 |
| 2008年12月30日 | 91.03  |
| 2009年12月30日 | 92.10  |
| 2010年12月30日 | 81.49  |
| 2011年12月30日 | 77.74  |
| 2012年12月28日 | 86.58  |
| 2013年12月30日 | 105.39 |
| 2014年12月30日 | 120.55 |
| 2015年12月30日 | 120.61 |
| 2016年12月30日 | 116.49 |
| 2017年12月29日 | 113.00 |
| 2018年1月31日  | 108.79 |
| 2018年2月28日  | 107.37 |
| 2018年3月30日  | 106.24 |
| 2018年4月27日  | 109.35 |
| 2018年5月31日  | 108.70 |
| 2018年6月29日  | 110.54 |
| 2018年7月31日  | 111.01 |
| 2018年8月31日  | 111.06 |
| 2018年9月28日  | 113.57 |
| 2018年10月31日 | 113.26 |
| 変化率（組入れ）    | -3.56% |
| 変化率（10月度）   | -0.27% |

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

2007年8月15日から2018年10月31日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2018 年 10 月 31 日現在の値

|  |       |
|--|-------|
| コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 219.8 |
| コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド90<br>〈適格機関投資家限定〉           | 151.9 |
| スパークス・集中投資・日本株ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 389.2 |
| スパークス・長期厳選・日本株ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                  | 411.5 |
| スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                | 92.3  |
| コムジエスト日本株式ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                      | 133.2 |
| バンガード 米国オポチュニティファンド                                | 336.7 |
| アライアンス・バーンスタインSICAV<br>- コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ | 130.0 |
| BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト                      | 109.7 |

2018 年 9 月 28 日の値を 100 とした場合の 2018 年 10 月 31 日現在の値（10月の動き）

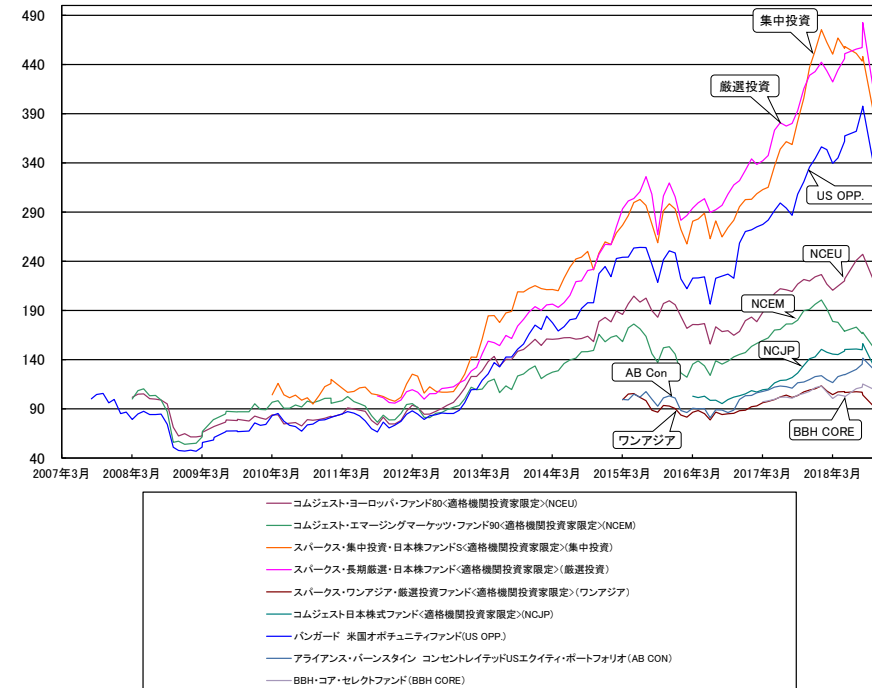
|  |      |
|--|------|
| コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 89.0 |
| コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド90<br>〈適格機関投資家限定〉           | 90.5 |
| スパークス・集中投資・日本株ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                 | 86.9 |
| スパークス・長期厳選・日本株ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                  | 85.3 |
| スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<br>〈適格機関投資家限定〉                | 88.7 |
| コムジエスト日本株式ファンド<br>〈適格機関投資家限定〉                      | 85.2 |
| バンガード 米国オポチュニティファンド                                | 84.7 |
| アライアンス・バーンスタインSICAV<br>- コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ | 91.8 |
| BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト                      | 95.2 |

※指数は小数点以下第2位を四捨五入しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは 2007 年 8 月 15 日、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド 80<適格機関投資家限定> (2018 年 9 月 11 日まではニッポンコムジエスト・ヨーロッパ・ファンド SA<適格機関投資家限定>) は 2008 年 3 月 12 日、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド 90<適格機関投資家限定> (2018 年 9 月 11 日まではニッポンコムジエスト・エマージングマーケット・ファンド SA<適格機関投資家限定>) は 2008 年 3 月 31 日、スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>は 2010 年 3 月 19 日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は 2011 年 9 月 13 日、アライアンス・バーンスタイン SICAV- コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (クラス I) は 2015 年 3 月 23 日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>は 2015 年 3 月 24 日、コムジエスト日本株式ファンドは 2016 年 3 月 14 日、BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト (I クラス) は 2017 年 3 月 14 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。(日付は全て当ファンドでの評価日付です)

## セゾン資産形成の達人ファンド 10月度運用レポート

### 投資先アクティブ運用ファンドの状況

各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第2位または第3位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

#### スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

10月度の騰落率は、日経平均株価の-9.1%、東証株価指数（TOPIX）の-9.4%に対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは-13.6%でした。9月末時点の当ファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位5業種)、上位10銘柄は下記の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は18銘柄となっています。

#### 資産構成比率

|        |       |
|--------|-------|
| 国内株式   | 96.7% |
| 現金・その他 | 3.3%  |

#### 業種別構成比率(上位5業種(東証33分類))

|   | 東証33業種 | 比率(%)  |
|---|--------|--------|
| 1 | 化学     | 14.34% |
| 2 | 電気機器   | 11.35% |
| 3 | 卸売業    | 11.12% |
| 4 | 情報・通信業 | 9.35%  |
| 5 | サービス業  | 8.72%  |

#### 組入上位10銘柄※銘柄コード順

| 銘柄名           | 業種     |
|---------------|--------|
| 花王            | 化学     |
| ロート製薬         | 医薬品    |
| テルモ           | 精密機器   |
| リクルートホールディングス | サービス業  |
| 日本電産          | 電気機器   |
| キーエンス         | 電気機器   |
| 三菱商事          | 卸売業    |
| ユニ・チャーム       | 化学     |
| ミスミグループ本社     | 卸売業    |
| ソフトバンクグループ    | 情報・通信業 |

#### スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>

10月度の騰落率は-11.3%でした。9月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位5業種)、上位10銘柄は下記の通りです。また、9月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は34銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

#### マザーファンドの状況

##### 資産構成比率

|        |       |
|--------|-------|
| 国内株式   | 92.9% |
| 現金・その他 | 7.1%  |

##### 業種別構成比率(上位5業種(東証33分類))

|   | 東証33業種   | 比率(%)  |
|---|----------|--------|
| 1 | 機械       | 15.13% |
| 2 | ガラス・土石製品 | 13.78% |
| 3 | 化学       | 13.60% |
| 4 | 卸売業      | 6.14%  |
| 5 | 電気機器     | 5.96%  |

#### 組入上位10銘柄（マザーファンドの組入れ状況）※銘柄コード順

| 銘柄名              | 業種       |
|------------------|----------|
| バリューコマース         | サービス業    |
| シップヘルスケアホールディングス | 卸売業      |
| 日本電気硝子           | ガラス・土石製品 |
| MARUWA           | ガラス・土石製品 |
| 三浦工業             | 機械       |
| 日本信号             | 電気機器     |
| エフピコ             | 化学       |
| デサント             | 繊維製品     |
| トーセイ             | 不動産業     |
| 京成電鉄             | 陸運業      |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 10 月度運用レポート

コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

10 月度の騰落率は、日経平均株価の-9.1%、東証株価指数 (TOPIX) の-9.4%に  
対しコムジェスト日本株式ファンドは-14.0%でした。10 月末時点のマザーファ  
ンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。  
また、10 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーフ  
ァンドの組入銘柄数は 39 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【コムジェスト日本株式マザーファンド】を通じて投資を行うファミ  
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

|          |       |
|----------|-------|
| 国内株式等    | 87.1% |
| 短期金融資産など | 12.9% |

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

| 銘柄                 | 業種         | 国  | 比率   |
|--------------------|------------|----|------|
| 1 ファーストリテイリング      | 一般消費財・サービス | 日本 | 4.6% |
| 2 ドンキホーテホールディングス   | 一般消費財・サービス | 日本 | 3.4% |
| 3 シスメックス           | ヘルスケア      | 日本 | 3.2% |
| 4 ダイキン工業           | 資本財・サービス   | 日本 | 3.0% |
| 5 キーエンス            | 情報技術       | 日本 | 3.0% |
| 6 ピジョン             | 生活必需品      | 日本 | 3.0% |
| 7 光通信              | 一般消費財・サービス | 日本 | 2.9% |
| 8 ポーラ・オルビスホールディングス | 生活必需品      | 日本 | 2.8% |
| 9 セブン&アイ・ホールディングス  | 生活必需品      | 日本 | 2.8% |
| 10 日本電産            | 資本財・サービス   | 日本 | 2.7% |

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>

10 月度の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算)  
\*の-12.1%に対し、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S は-11.5%でした。9  
月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、組入上位 10 銘柄は  
下記の通りです。また、9 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.1%、  
マザーファンドの組入銘柄数は 43 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミ  
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

|        |       |
|--------|-------|
| 外国株式   | 88.2% |
| 現金・その他 | 11.8% |

国別株式投資比率と業種別投資比率

| 業種           | 比率(%)  | 国名         | 比率(%)  |
|--------------|--------|------------|--------|
| 1 金融         | 20.11% | 1 香港       | 23.44% |
| 2 情報技術       | 18.37% | 2 台湾       | 10.41% |
| 3 一般消費財・サービス | 14.37% | 3 オーストラリア  | 10.15% |
| 4 生活必需品      | 11.11% | 4 韓国       | 8.39%  |
| 5 資本財・サービス   | 8.95%  | 5 中国       | 8.12%  |
| 6 公益事業       | 4.78%  | 6 インド      | 5.70%  |
| 7 電気通信サービス   | 3.60%  | 7 タイ       | 5.65%  |
| 8 ヘルスケア      | 3.54%  | 8 インドネシア   | 4.36%  |
| 9 不動産        | 3.39%  | 9 アメリカ合衆国  | 2.78%  |
|              |        | 10 英国      | 2.67%  |
|              |        | 11 シンガポール  | 2.64%  |
|              |        | 12 フィリピン   | 2.13%  |
|              |        | 13 ルクセンブルグ | 0.94%  |
|              |        | 14 マレーシア   | 0.84%  |

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※アルファベット順

| 銘柄名                | 業種         |
|--------------------|------------|
| AIA GROUP LTD      | 金融         |
| GUANGDONG INVEST   | 公益事業       |
| HONG KONG EXCHANGE | 金融         |
| HSBC HOLDINGS PLC  | 金融         |
| ITC                | 生活必需品      |
| NEXTEER AUTOMOTIVE | 一般消費財・サービス |
| SAMSUNG ELECTRONIC | 情報技術       |
| TAIWAN SEMICON MAN | 情報技術       |
| TENCENT HLDGS LTD  | 情報技術       |
| TRANSURBAN GROUP   | 資本財・サービス   |

\*MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く)  
インデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン  
投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証  
するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。  
投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 10 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド  
(インスティテューショナルシェア・クラス)

10 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の-7.5%に対し、米国オポチュニティファンドは-13.4%でした。9 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 9 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、9 月末時点の組入銘柄数は 228 銘柄となっています。

### 資産構成比率

|       |        |
|-------|--------|
| 外国株式等 | 100.0% |
| 現金等   | 0.0%   |

組入上位 10 銘柄と投資比率（四半期ごとに更新／上位 10 銘柄の合計：26.1%）

| 銘柄                                 | 業種         | 組入比率 |
|------------------------------------|------------|------|
| 1 ABIOMED Inc.                     | ヘルスケア      | 5.3% |
| 2 Nektar Therapeutics              | ヘルスケア      | 3.2% |
| 3 Eli Lilly & Co.                  | ヘルスケア      | 3.0% |
| 4 Seattle Genetics Inc.            | ヘルスケア      | 2.9% |
| 5 Southwest Airlines Co.           | 資本財・サービス   | 2.5% |
| 6 Alphabet Inc.                    | 情報技術       | 2.2% |
| 7 United Continental Holdings Inc. | 資本財・サービス   | 1.8% |
| 8 Delta Air Lines Inc.             | 資本財・サービス   | 1.8% |
| 9 Xencor Inc.                      | ヘルスケア      | 1.7% |
| 10 Chegg Inc.                      | 一般消費財・サービス | 1.7% |

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

|    | 業種         | 組入比率  |
|----|------------|-------|
| 1  | ヘルスケア      | 32.9% |
| 2  | 情報技術       | 29.5% |
| 3  | 資本財・サービス   | 17.2% |
| 4  | 一般消費財・サービス | 11.3% |
| 5  | 金融         | 7.0%  |
| 6  | 電気通信サービス   | 0.8%  |
| 7  | エネルギー      | 0.7%  |
| 8  | 素材         | 0.3%  |
| 9  | 生活必需品      | 0.3%  |
| 10 | 不動産        | 0.0%  |
| 11 | 公益事業       | 0.0%  |

アライアンス・バーンスタイン SICAV- コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ（クラス I）

10 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の-6.9%、ラッセル 1000 グロス指数の-9.0%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは-6.0%でした。9 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 20 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄（株式への投資に対する割合／上位 10 銘柄の合計：59.03%）

| 銘柄                                 | 業種         | 組入比率  |
|------------------------------------|------------|-------|
| 1 Abbott Laboratories              | ヘルスケア      | 8.43% |
| 2 Charles Schwab                   | 金融         | 7.33% |
| 3 Booking Holdings                 | 一般消費財・サービス | 6.50% |
| 4 Mastercard                       | 情報技術       | 6.09% |
| 5 Ulta Salon Cosmetics & Fragrance | 一般消費財・サービス | 5.45% |
| 6 Facebook                         | 情報技術       | 5.07% |
| 7 Alphabet                         | 情報技術       | 5.06% |
| 8 Allegion                         | 資本財・サービス   | 5.06% |
| 9 Celgene                          | ヘルスケア      | 5.06% |
| 10 Verisk Analytics                | 資本財・サービス   | 4.98% |

業種別投資比率（株式への投資に対する割合）※新分類で表示しています。

|    | 業種             | 組入比率   |
|----|----------------|--------|
| 1  | ヘルスケア          | 25.21% |
| 2  | 一般消費財・サービス     | 21.71% |
| 3  | 情報技術           | 19.42% |
| 4  | コミュニケーション・サービス | 10.12% |
| 5  | 資本財・サービス       | 10.04% |
| 6  | 金融             | 7.33%  |
| 7  | 生活必需品          | 3.11%  |
| 8  | 素材             | 3.06%  |
| 9  | エネルギー          | 0.00%  |
| 10 | 不動産            | 0.00%  |
| 11 | 公益事業           | 0.00%  |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。





## セゾン資産形成の達人ファンド 10月度運用レポート

BBH・ルクセンブルグ・ファンズー- BBH・コア・セレクト (Iクラス)

10月度の騰落率（ドルベース）はS&P500指数の-6.9%に対し、BBH・コア・セレクトは-3.2%でした。9月末時点の組入上位10銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は27銘柄となっています。

資産構成比率

|       |       |
|-------|-------|
| 外国株式等 | 92.9% |
| 現金等   | 7.1%  |

組入上位10銘柄（上位10銘柄の合計：52.6%）

|    | 銘柄                        | 業種         | 組入比率 |
|----|---------------------------|------------|------|
| 1  | Berkshire Hathaway Inc    | 金融         | 7.6% |
| 2  | Oracle Corp               | 情報技術       | 7.1% |
| 3  | Alphabet Inc              | 情報技術       | 6.7% |
| 4  | Comcast Corp              | 一般消費財・サービス | 5.5% |
| 5  | US Bancorp                | 金融         | 5.0% |
| 6  | FleetCor Technologies Inc | 情報技術       | 4.6% |
| 7  | Wells Fargo & Co          | 金融         | 4.5% |
| 8  | Novartis AG               | ヘルスケア      | 4.4% |
| 9  | Zoetis Inc                | ヘルスケア      | 3.6% |
| 10 | Kroger Co                 | 生活必需品      | 3.6% |

業種別投資比率

|    | 業種         | 組入比率  |
|----|------------|-------|
| 1  | 情報技術       | 28.3% |
| 2  | 金融         | 18.4% |
| 3  | 一般消費財・サービス | 16.1% |
| 4  | ヘルスケア      | 15.7% |
| 5  | 生活必需品      | 11.5% |
| 6  | 素材         | 6.2%  |
| 7  | 資本財・サービス   | 3.8%  |
| 8  | エネルギー      | 0.0%  |
| 9  | 不動産        | 0.0%  |
| 10 | 電気通信サービス   | 0.0%  |
| 11 | 公益事業       | 0.0%  |

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
10 月度運用レポート

## コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド 80&lt;適格機関投資家限定&gt;

10 月度の騰落率は MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）\*の-10.4% に対し、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド 80 は-10.7%でした。10 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、10 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 38 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジエスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

## マザーファンドの状況

## 資産構成比率

|          |       |
|----------|-------|
| 外国株式等    | 93.7% |
| 短期金融資産など | 6.3%  |

## 組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

|    | 銘柄                       | 業種         | 国      | 比率   |
|----|--------------------------|------------|--------|------|
| 1  | INDITEX                  | 一般消費財・サービス | スペイン   | 5.8% |
| 2  | AMADEUS IT GROUP SA      | 情報技術       | スペイン   | 5.7% |
| 3  | ESSILORLUXOTTICA         | ヘルスケア      | フランス   | 5.2% |
| 4  | COLOPLAST -B             | ヘルスケア      | デンマーク  | 4.7% |
| 5  | SAP SE                   | 情報技術       | ドイツ    | 4.1% |
| 6  | HEINEKEN NV              | 生活必需品      | オランダ   | 3.9% |
| 7  | LINDT & SPRUENGLI AG-PC  | 生活必需品      | スイス    | 3.5% |
| 8  | STRAUMANN HOLDING AG-REG | ヘルスケア      | スイス    | 3.4% |
| 9  | WIRECARD AG              | 情報技術       | ドイツ    | 3.4% |
| 10 | ASSA ABLOY B ORD         | 資本財・サービス   | スウェーデン | 3.4% |

\*MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス（ユーロ建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

## コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド 90&lt;適格機関投資家限定&gt;

10 月度の騰落率は MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て換算）\*の-11.2%に対し、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド 90 は-9.3%でした。10 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、10 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 41 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジエスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

## マザーファンドの状況

## 資産構成比率

|          |       |
|----------|-------|
| 外国株式等    | 97.2% |
| 短期金融資産など | 2.8%  |

## 組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

|    | 銘柄                                  | 業種             | 国    | 比率   |
|----|-------------------------------------|----------------|------|------|
| 1  | TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR         | 情報技術           | 台湾   | 6.7% |
| 2  | PING AN INSURANCE GROUP CO-H        | 金融             | 中国   | 5.5% |
| 3  | BAIDU INC ADR                       | コミュニケーション・サービス | 中国   | 3.6% |
| 4  | NETEASE INC ADR                     | コミュニケーション・サービス | 中国   | 3.6% |
| 5  | COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD | 情報技術           | アメリカ | 3.5% |
| 6  | FOMENTO ECONOMICO MEXICANO          | 生活必需品          | メキシコ | 3.3% |
| 7  | CHINA LIFE INSURANCE CO-H           | 金融             | 中国   | 3.2% |
| 8  | BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA      | 金融             | ブラジル | 3.1% |
| 9  | POWER GRID CORP OF INDIA LTD        | 公益事業           | インド  | 3.0% |
| 10 | SAIC MOTOR CORPORATION LTD.         | 一般消費財・サービス     | 中国   | 2.9% |

\*MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て）の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（ドル建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
10月度運用レポート

## ■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資  
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資  
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル  
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

## ■投資対象ファンドの選定条件

- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。
- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド  
10 月度運用レポート

## ■現在の組入れ対象ファンドについて

## ①バンガード 米国オポチュニティファンド

主要投資対象：主に米国の株式に投資します。

運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。

## ②コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80&lt;適格機関投資家限定&gt;

主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

## ③コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90&lt;適格機関投資家限定&gt;

主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行ないます。

## ④スパークス・集中投資・日本株ファンド S&lt;適格機関投資家限定&gt;

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。

運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。

## ⑤スパークス・長期厳選・日本株ファンド&lt;適格機関投資家限定&gt;

主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。

運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。

## ⑥アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ(\*本レポートでは「米国株式集中投資ファンド」と記載する場合があります)

主要投資対象：主に米国株式に投資します。

運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。

## ⑦スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S&lt;適格機関投資家限定&gt;

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。

運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

## ⑧コムジェスト日本株式ファンド&lt;適格機関投資家限定&gt;

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

## ⑨BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト

主要投資対象：主に米国株式市場に上場された中・大型株式に投資します。

運用方針：BBH が定めた 6 つの厳格な投資基準を満たす企業の株式をベースにユニバースを構成し、その中から割安と判断される約 25~30 銘柄のみを選択して集中投資を行います。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 10 月度運用レポート

### ■お申込みメモ

- 購入申込日：原則として、毎営業日にお申込みを受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- 申込締切時間：原則として、午後 3 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- 購入価額：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額（当初元本は、1 口あたり 1 円）
- 購入単位：1 万円以上、1 円単位（定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位）
- 購入時手数料：ありません
- 換金申込日：原則として、毎営業日にお申込みを受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- 申込締切時間：原則として、午後 3 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- 換金単位：1 口以上、1 口単位 または 1 円以上、1 円単位
- 換金代金：原則として、換金申込受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
- 換金価額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
- 信託財産留保額：0.1%
- 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
- 信託期間：無期限
- 決算日：毎年 12 月 10 日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）  
当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
- 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。  
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン資産形成の達人ファンド 10 月度運用レポート

### ■当ファンドに係る手数料等について

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆換金時に係る費用

換金手数料はかかりません。なお、換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5724%（税抜 0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※当該手数料の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失（収入の損失、利益の損失、機会費用を含む）について一切の責任を負いません。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また、MSCI は指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口 : 03-3988-8668

営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。